



CHOUZとは「長する」の日本語で「成長する」という意味があります。本学は、学生の皆さんが自分の目指す保育者へと成長する過程を共に歩んでいきたいと考えています。

コミュニケーションペーパー

2023  
Autumn & Winter

秋冬号

VOL. 10

TAKE FREE

特集

子どもの成長と環境

准教授 舟越 美幸

トピックス

いっしょにね!  
～おはなしと、あそびのじかん～  
参加申込受付中

▶▶▶先輩に聞く!

保育の現場から (杉井 千菜美さん)

▶教員紹介

講師 (音楽教育学) 長島 佳奈

▶2024年度 入学試験日程

▶オープンキャンパス

編集後記

## 子どもの成長と環境

私は、子どもの成長と周囲の関係性の発達や環境の在り方に関心を持ち、保育現場の先生方の実践知をいただきながら研究を進めています。人間は周囲の環境を発達の源泉に、信頼できる人の感じ方や考え方、関わり方をロールモデルとして取り込み社会化していきます。その過程において子どもは、「自己充実欲求(自分らしく生きたいと願う心)」と「繋合希求欲求(他者と気持ちが繋がることを嬉しく思う心)」の両欲求や、相手の内面や状況と自分の感じ方を重ね合わせて受け止め、考える視点を育む必要があります。大人は、個々の子どもが思いや願いを傾けるヒト(人)-モノ(物)-コト(事象)に対して自ら挑戦したい!と探求心や好奇心が滲み出るような環境を丁寧につくり、「養護の働き(子どもの思いを受け止める, 意図を支える等)」を基盤に喜びや不安や怒りといった感覚を受け止め、「教育の働き(大人の思いや願いを伝え教える, 叱る等)」を用いて共に喜んだり考えたりしながら信頼関係を築くことが重要です<sup>1)</sup>。私はそのような大人が土台となって子どもの正負の情動を受け止めることで、子ども自身が「かけがえない自分」を信じることで、安心してトライ&エラーを繰り返しながらその子どもらしく世界を広げていけることを大切に考えています。

ある園で、友達と関わらない子どもと思われていたAちゃんに対して保育者がAちゃんの内面にまなざしを向け、その不安を温かく共感的に受け止めました。そして、保育者はAちゃんと共にクラスの友達と喜びを共有し合い、友達がAちゃんに感謝の気持ちを向ける活動を考え実践してみました。すると、Aちゃんが保育者との愛着や信頼関係を基盤に周囲の友達や遊びに自然に関わるようになりました。また、描く絵も表情のない自画像から笑顔の自画像、数か月後には多くの友達と手を繋ぎ喜ぶ自分を描くよう



准教授  
舟越 美幸

特集

になり、その変容と成長に保育者も私も感動しました。

近年子どもの成長には、大人との愛着関係を基盤に養護(Care)と教育(Education)で培う非認知能力<sup>2)</sup>や、保護者や地域資源との連携協働の場が重要だと言われています。私自身も、ある保育園の活動で、青年の家が主催する子どもたち、保護者、スタッフが交流できる「沢登り」プログラムやコミュニティセンター主催の三世代交流・自然体験活動、園庭づくりに参加させていただき、地域の核となるお年寄りや保護者、何より保育者の皆さんの意欲、行動力に心が揺れ感動しています。子どもにとって安全基地、避難場所となる、愛着や信頼が成立する大人の存在は、集団の中で両欲求を満たすことやヒト—モノ—コトの関係性を深め広げることに憧れをもつための基盤であり、地域社会に養護(Care)と教育(Education)のサポートを供給する大人が複数存在することは子どもや保育者、地域に大きな意味を持つと考えています。私自身、子どもも子育てに関わる誰もが安心し癒され共に幸福感(well-being)を感じる環境づくりに関わっていきたいと思います。

### 【参考文献】

- 1) 鯨岡峻(2021)エピソード記述から新しい保育論が見えてくる-保育の営みの中心にいる保育者:保育者の主体性(1)-, 保育通信, 全国保育園連盟, 795, pp26-27
  - 2) 遠藤利彦(2022)「非認知能力」なるものの発達と教育, 非認知能力の発達と保育・教育, 発達, 170, ミネルヴァ書房, pp2-8
- ※非認知能力とは意欲やコミュニケーション力といった数値では測れない能力

## いっしょにね! ～おはなしと、あそびのじかん～ 参加申込受付中

- 日にち：10月17日(火)、11月14日(火)、1月16日(火)
- 対象：0-3歳のお子さんご家族
- 場所：大阪健康福祉短期大学松江キャンパス
- 定員：各回 先着10組  
(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費  
無料

増原研究室では、ゼミ活動の一環として、松江図書室とタグを組み、今年度3回のおはなしとあそびの会を開催します。

この会は、絵本に触れるだけでなく、毎回がったテーマで、親子活動を楽しめるよう企画中です。2年生は、今まで学習してきた「教材研究(絵本)」や「子どもの造形表現」の内容を応用し、1年生は「保育内容(言葉)」で学んだばかりの絵本や紙芝居の読み方、言葉での関わりを駆使し、内容を試行錯誤してきました。そんな1・2年生と一緒に話し合い、この会のために、4月から準備を重ねております。

第1回の10月17日(火)は、絵本を見た後に、段ボールトンネルやバスタオルのそり、ボールプールなどで、お子さんとご家族、学生、みんなで一緒に元気いっぱい遊びましょう。第2回は、11月14日(火)に「親子で一緒にふれあいタイム♪」というテーマで、手あそびやわらべ歌、リトミックスカーフを使ってお子さんとの交流を楽しむ時間を予定しています。第3回は、2024年1月16日(火)に「つんつん ぶにぶに 感触あそび♪」をテーマとし、絵具などを使った感触遊びを実施します(汚れないよう工夫していますので着替えは不要です)。ピニールの中で絵具を押さえて動かします。ご家族の方も、お子さんと一緒にその

10月17日  
第1回  
親子で からだを  
うごかそう!

11月14日  
第2回  
親子で一緒に  
ふれあいタイム♪

2024年  
1月16日  
第3回  
つんつん ぶにぶに  
感触あそび♪

\*先着10組  
\*参加費無料

\*時間：各回 13:30-14:15  
\*対象：0-3歳のお子さんご家族  
\*場所：大阪健康福祉短期大学松江キャンパス  
\*申込：下記フォームかメール  
(タイトルに「いっしょにね!参加申込」としていただき、  
空メールを右記に送付→ [tosyokan@kenko-fukushi.ac.jp](mailto:tosyokan@kenko-fukushi.ac.jp))

主催 大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科 増原 真緒

感触の気持ちよさを味わい、楽しさを共有する時間にしていただきたいと思います。

時間は、各回とも13:30-14:15、入場は無料で10組限定です。地域にお住いの方や、お子さんとの活動に興味をお持ちの方、元保育士の教員とおしゃべりを楽しみたい方など、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科 増原 真緒



参加申込フォーム

タイトルに  
「いっしょにね!参加  
申込」としていただき、  
空メールを右記に送付



メール申込先

[tosyokan@kenko-fukushi.ac.jp](mailto:tosyokan@kenko-fukushi.ac.jp)

への理解が深まっていく他、これらの活動は、子どもの表現活動を支えたり発展させたりする力の醸成にも役立つと考えます。

今、学生たちは、絵本に込められた作者の想いや世界観を考えながら、自分たちのイメージする音が一つ一つ形になってきていることに楽しさと喜びを感じている様子です。

そして、実践発表において子どもたちが学生の作品に心を動かし、想像力や創造力が高まることを期待しています。

## 教員紹介



講師(音楽教育学)  
長島 佳奈

### Q1 研究テーマと研究の目的について教えてください。

音楽表現を総合的に捉えた授業の在り方について研究を行っています。

保育・幼児教育の表現分野は、音楽に限らず、総合的に活動を行うことが重要であるとされています。

現在、授業において絵本の物語と音色を融合した音楽創作活動を行っており、秋にはその作品を保育園で実践発表します。音楽創作過程において、絵本の画や言葉からイメージされる音をどのように表現するのかを模索することによって、音楽の構造



保育の現場から

キラリ  
仕事人

先輩たちに聞く!

杉井 千菜美さん (3期生)

島根県立江津高等学校卒業

社会福祉法人 明蓮会めぐみ保育園 勤務

大学での年齢に応じた遊びについての授業が、とても良い学びになりました。

### 大学での学びの中から仕事で役に立っていることは?

大学での学びで活かされていると感じることは、年齢に応じた遊びについての授業です。

この授業の中で、季節の植物を探したりグループで年齢に応じた遊びを使って模擬指導をしたりしました。その中で得た遊びを担当している子どもたちの実態と照らし合わせて活動として取り入れています。

子どもたちも初めてする活動にとっても興味津々だったり、活動を通して新たな一面を見つけられたりと、とても良い引き出しを2年間で得ることができたと感じています。

### 現場にでて改めて思ったことは?

現場に出て改めて思うことは、子どもたちにとって安心できる場を作ることの大切さです。

保護者のもとを離れて過ごすことは子どもたちにとって、とても不安なことだと思います。その不安を信頼関係や愛着を形成することで、少しでも保育園が「楽しい」「明日も行きたい」と思ってもらえるような環境や関わりをすることがとても大切だと感じています。

### 仕事で心がけていることは?

子どもたちが自分の思いを伝えられるような言葉がけをすることです。

1歳になると物の取り合いが増えてきます。その時に、子どもたちがよく「やだよ。だめよ。」という言葉を使うことがあります。私はその都度「やだよは悲しいな。今使ってるよって言うてみたら?」と伝えています。すると、子どもたちは次第に「今使ってるよ」「貸して」など、思いを子どもたちなりに伝えられるようになりました。

保育者が、どのように子どもたちの思いを汲み取った言葉がけができるかが大切になってくると考えています。

### みなさんへメッセージ

保育者という仕事は、子どもたちの成長だけでなく自分自身も共に子どもたちによって気づかされたり、成長できる仕事だと感じています。

そして、本当に本当に子どもたちは可愛いですよ!

保育者を目指す皆さんが素敵な保育者になれるように願っています。

できました。

今、私が音楽を通して様々なことを伝えていく立場となり、一人でも多くの学生が自分の感性や思考が豊かになっていけるようサポートしていきたいと思っています。

### Q3 本学の教員として意識されていることはなんですか?

学生の気持ちに寄り添うことです。

学生の気持ちに寄り添うとは、学生の考えや気持ちを理解し、尊重し、それぞれに合った指導や支援を行うということです。学生は一人一人違うので、様々な方法で

教えることはできません。とくに音楽の授業では学生自身が「できた」「わかった」「面白い」と実感できるよう一人一人に合った指導を心がけています。学生の気持ちに寄り添うことで、学生の学びや成長を促し、自信をもった保育者として羽ばたいてほしいと願っています。

### Q4 座右の銘やこだわりなど

「一期一会」

中学生の時からずっと大切にしている言葉です。二度とない、今この瞬間を大切に生きていきたいです。

## 2024年度 入学試験日程

募集区分	選抜日	選抜方法				
		総合型選抜	学校推薦型選抜A	学校推薦型選抜B	一般選抜	社会人選抜
第2回総合型選抜	2023 10/14(土)	○				
第3回総合型選抜	2024 1/20(土)	○				
前期	第1回	2023 11/18(土)		○	○	
	第2回	2023 12/2(土)		○	○	
	第3回	2023 12/23(土)		○	○	
	第4回	2024 1/20(土)		○	○	

## オープンキャンパス開催!(予約制)

2023年 10/21(土) | 12/9(土) | 2024年 3/16(土)

時間 13:00~15:30 予定(受付12:30~12:50)

オープンキャンパスに参加を希望される場合は、事前にホームページまたはTEL.0852-67-3716からお申し込みください。



## 学校法人 大阪健康福祉短期大学



保育・幼児教育学科(松江キャンパス)  
 島根県松江市西川津町4280  
 TEL:0852-67-3716 FAX:0852-67-3805

ホームページ  
<http://www.shimane.kenko-fukushi.ac.jp>

Eメール  
[kouhou-shimane@kenko-fukushi.ac.jp](mailto:kouhou-shimane@kenko-fukushi.ac.jp)



### 編集後記

今回の「キラリ仕事人」は、江津高等学校出身で江津市の保育園に勤務している卒業生にインタビューしました。

在学中の彼女は、折り紙がとても上手で、動物やお花などを制作し、季節に合わせて図書館の壁面に飾りつけてくれました。その作

品は、今でも大切に図書館に展示されています。

オープンキャンパスなどで来校された際には、ぜひご覧ください。

(担当 宇山)